

セルリー(野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	斑点病	軟腐病	灰かび病	うどんこ病	菌核病	アザミウマ類	アブラムシ類	コナジラミ類	ハモグリバエ類	ヨトウバムシ類	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	タバコガ	ナメクジ類	ハダニ類	ハダニ類	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ	
アグロケア水	BM2		1	-	◎		◎	◎															
エコショット顆水	BM2		1	-	◎																		
スターナ水	31		14	3		◎																	
トップジンM水	1		60	2	◎																		
アフェットFL	7		1	3	◎				◎														
アミスター20FL	11		3	4	◎																		
ストロビーFL	11		1	3	◎																		
スコア顆水	3		1	3	◎																		
トリフミン水	3		1	2	◎																		
ヨネボン水	M1		7	3	◎	◎																	
ダコニール1000FL	M5		21	2	◎																		
カスミンボルドー水	24・M1		7	3	◎	◎																	
スピノエース顆水	5		3	3									◎										
コロマイト乳	6		3	2																	◎		
アクタラ粒5	4A		*b *c	2									ナ ナ										
アドマイヤーFL	4A	劇	7	3						◎													
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	4A		14	2						◎													
アルバリン粒 スタークル粒	4A		*b	1						◎													
ダントツ溶	4A		3	3						◎		◎											
ダントツ粒	4A		*b	1						◎													
モスピラン顆溶	4A	劇	7	2						◎	◎		ナ										
モスピラン粒	4A		*b	1						◎			ナ										
ディアナSC	5		1	2											◎								
アニキ乳	6		1	3											◎								
アフーム乳	6		7	3									◎	◎	◎	◎	◎						
コテツFL	13	劇	14	2										◎									
リーフガード顆水	14	劇	7	2																	◎		
カスケード乳	15		14	3							◎	マ			◎								
トリガード液	17		7	3									マ										
ハチハチFL	21A	劇	30	2						◎		ナ											
ウララDF	29		1	2						◎													
プレオFL	UN		1	2									◎		◎								

*b:定植時 *c:鉢上時

ナ:ナモグリバエ マ:マメハモグリバエ

セルリー(野菜類、セリ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
斑点病	生育期	・発病初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 スコア顆粒水和剤 2000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍	6月はじめから盛夏にかけて発生する。
	収穫期	・被害茎葉を圃場に残さない。	
軟腐病	定植前	・低湿地での栽培を避け、排水を良好にする。	
	生育期	・発病初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 スターナ水和剤 2000倍 ヨネボン水和剤 500倍	
モザイク病	育苗期	・夏まき栽培における苗床は必ず寒冷紗で被覆し、アブラムシの飛来を防止する。定植後も生育中期まで寒冷紗被覆栽培を続けると、さらに効果が高い。	キュウリモザイクウイルス(CMV)によっておこるものが多い。 夏まき栽培(5~6月播種)に発生が多く、アブラムシが多発したときに被害が大きい。
	生育期	・生育初期からアブラムシ類を防除する。	
アブラムシ類	育苗期	・苗床は寒冷紗などで被覆する。	
	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 アドマイヤーフロアブル 4000倍	
ハモグリバエ類	生育期	・発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 2500倍	
ヨトウムシ	生育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アフーム乳剤 2000倍 コテツフロアブル 2000倍	5~6月と9~11月に発生する。老熟幼虫は薬剤が効きにくいので早期に防除する。
ハダニ類	生育期	・発生初期に次の薬剤を散布する。 コロマイト乳剤 2000倍	夏期に乾燥すると発生が多い。
ネコブセンチュウ	定植前	・前作物に寄生があったところでは土壌消毒する◇。	◇土壌消毒の項参照
その他の病害虫		葉枯病	